

安全衛生上の注意事項

『注意事項』下記の注意を守ってご使用下さい。

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5. よくフタをして、一定の場所に定めて貯蔵して下さい。
6. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い落して下さい。
9. 容器はつり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる時は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意して下さい。

取扱いまたは使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

TEL (06)6791-4031番(代表)

FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラー1番館102号

TEL (048)940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

取扱店



水性涼風

すいせい

すずかぜ

水系2液シリコン塗料

塗り替え対象屋根材

- ◎薄形化粧スレート
- ◎カラー鋼板
- ◎波形スレート(ノンアスベストタイプは除く)
- ◎アスファルトシングル

注意: 塗り替え対象屋根材以外に
使用しないで下さい。

注: 塗料では瓦の割れの補修及び防止は出来ませんので、割れの発生している瓦への塗装は避けてください。割れが発生している瓦は差し替えてから塗装してください。また、凍破を防止することはできませんのでご注意ください。

® オリエンタル塗料工業株式会社

特 長

- ①水性シリコン樹脂なので、下地旧塗膜を選びません。しかも、耐久性耐候性に優れています。
- ②薄形化粧スレート、金属屋根、※波形スレート、アスファルトシングルの塗り替えに効果絶大です。
- ③ハケ、ローラー、吹付けのいずれでも塗装でき作業性を確保。
※ 新設の波形スレートはノンアスベストのため塗装を避けて下さい。

用 途

- ◎金属屋根
- ◎薄形化粧スレート
- ◎波形スレート（新設は除く）
- ◎アスファルトシングル

遮熱塗料の効果と仕組み

太陽光の中には色々な波長の光が含まれています。色を表す可視光から、目に見えない光、殺菌効果や日焼けの原因となる紫外線、熱に交換される赤外線などです。赤外線の効果は暖房器具や衣服などに応用され、皆様の周りで見かけることができます。

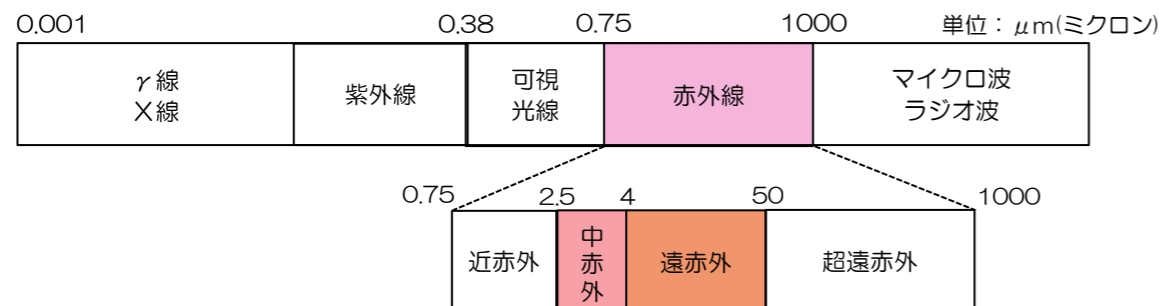
日中の太陽の光が白く見えるのは、上記の光が全て混ざっている状態だからです。例えば太陽光の下で、白い物が白く見えるということは太陽光を全て反射しており、青い物は太陽光の青以外の光を吸収し、青い波長の光を反射しているということです。黒色の場合は、通常の黒は可視光だけでなく、紫外線や赤外線を吸収しており、物体に吸収された赤外線は熱へと変化します。このため太陽光の下に同じ材質の白い物と黒い物を同じ時間放置すると、黒い物の方が高温になるという結果が得られます。

水性涼風は、赤外領域の波長を効率的に反射させる機能性顔料を使用する事により、赤外線を吸収する従来の色と比較し遮熱効果を発揮しています。

赤外領域を反射させるために有機顔料などを混合し遮熱効果を得る方法もありますが、耐候性の面で比較すると有機顔料よりも涼風に採用している機能性顔料の方が高耐候である結果が出ています。

電磁波の波長と名称

赤外線関連の学会、業界、団体によって赤外線波長の区分基準が多少異なります。図の数値は弊社内の基準によるものです。



塗装工程

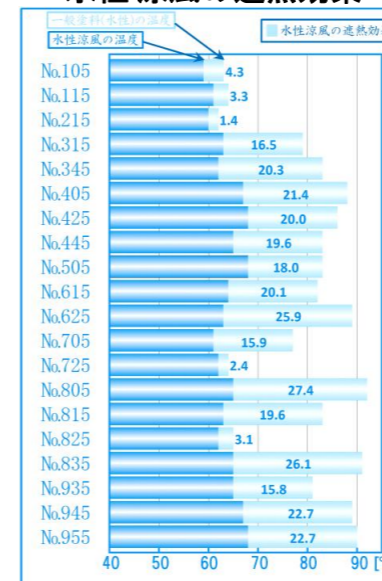
| | 希釈量(清水) | 塗布量 | 塗装面積 | 塗装間隔 | |
|---|------------|---|-------------------------|----------------------------------|-------|
| 1 | 素地調整 | <ul style="list-style-type: none"> ・被塗物についているゴミ、ホコリ等を十分に洗浄除去して下さい。 ・被塗物表面が脆弱化している場合は、回転ブラシ、サンダー等で脆弱層を十分に除去して下さい。 ・被塗物に旧塗膜がある場合は、ガムテープ剥離試験を行い、剥離する塗膜は必ずケレン除去して下さい。 ・8MPa~10MPaの圧力で高圧水洗を充分に行ってください。 ・高圧水洗後は48時間以上十分に乾燥して下さい。 | | | |
| 2 | 上塗り 1回目 | 刷毛・ローラー 10~20% エアレススプレー 10~30% | 150~250g/m ² | 15kgセットで 60~100m ² | 2時間以上 |
| 3 | 上塗り 2回目 | 刷毛・ローラー 5~10% エアレススプレー 10~20% | 150~250g/m ² | 15kgセットで 60~100m ² | |

※素地が荒れている場合は3回目の塗装が必要になります。
※水性涼風はアスファルトシングルにもご使用になれます。ただし塗装面積は半分以下となり、塗装回数が4~5回以上必要となります。

使用上の注意点

- ①水性涼風は十分に攪拌してからご使用下さい。攪拌が不十分な場合は色ムラになる可能性があります。
- ②他の塗料とは、相溶性が有りませんので混合しないで下さい。
- ③主剤と硬化剤を混合後、6時間以内(20℃)に全量使用して下さい。(主剤と硬化剤を混合した後の可使用時間は、使用時の気温、湿度等の条件によって異なります。混合後はなるべく速やかにご使用下さい。)
- ④朝夕の結露時期、被塗物が異常に高温の時(60℃以上)、降雪雨が予想される時、塗装後24時間以内に気温が、5℃以下になる場合は、塗装を避けて下さい。
- ⑤エアレス塗装機及びホース内に残っているシンナー類は完全に除去し水洗いしてから水性涼風を吸わせる様にして下さい。シンナーが残っているとゲル化しますのでご注意下さい。
- ⑥刷毛塗りで銀黒色を塗装されますとムラになる可能性があります。
- ⑦薄形化粧スレートでは必ず縁切りを行ってください。
- ⑧塗装ミストの飛散により周辺を汚しトラブルとなる事が有ります。近隣に飛散しないよう十分な養生を行ってください。

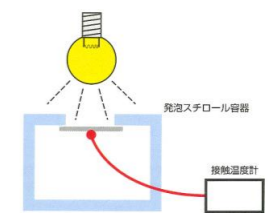
水性 涼風の遮熱効果



左図の温度は下図のように発泡スチロール容器の上部にアルミの塗板を設置し、一定距離からランプを照射させ、裏面の温度を接触温度計で測定しました。一定時間ランプ照射後の一般塗料の温度と遮熱塗料の温度差を表示しました。

遮熱試験方法と試験条件

| | |
|-------|--------------------|
| ランプ距離 | 16cm |
| ランプ種類 | 1R-100/110V 200WRF |
| アルミ板 | 0.8mm×18cm×15cm |
| 照射時間 | 10分 |
| 室内温度 | 25℃ |
| 照射面積 | 12×11cm |



※表示している遮熱効果は右図の試験データであり、実際の温度差とは異なります。

※このカタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。